

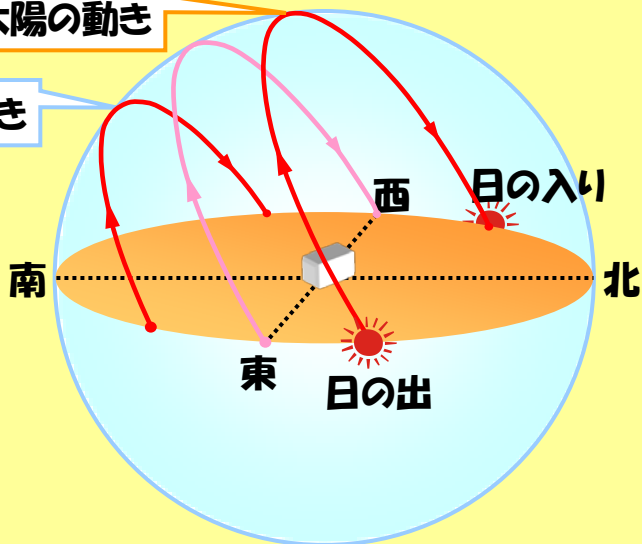
1. 光を利用する



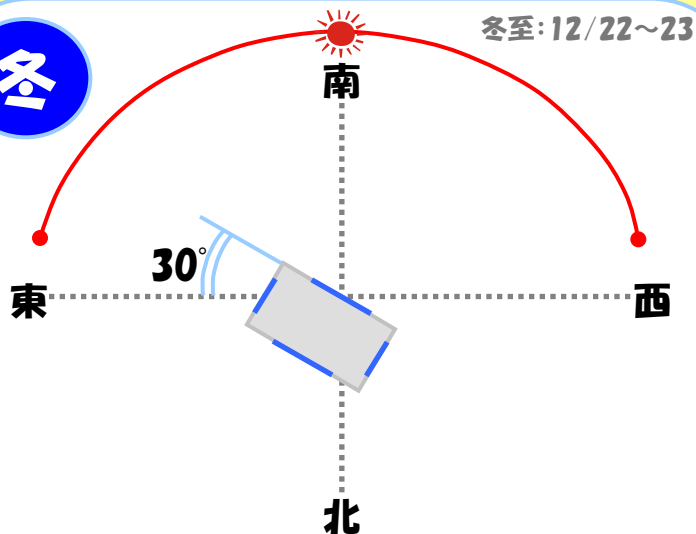
家の向きを考える

夏の太陽の動き

冬の太陽の動き

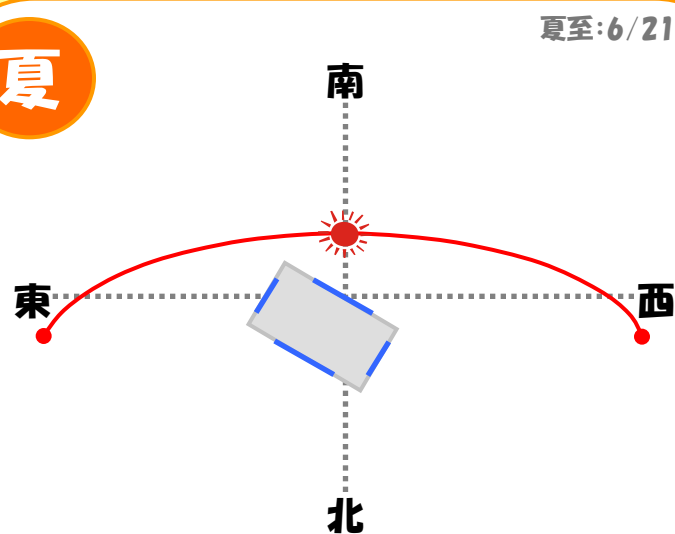


冬



陽が前側から昇って、前方の低い位置を通り、前方に沈むので、朝から十分な陽射しを受けることができます。

夏



陽が後側から昇り、天頂のやや前側を通過して、後方に沈むので、日差しは入りにくくなり、西日も受けにくくなります。